

DXを活用した行政・住民サービス事業の実証【富岡町】

【富岡町】×【(株)オリエンタルコンサルタンツ・(株)NTT-ME・NTTインフラネット(株)】

1 解決したい地域課題

- ・避難住民の帰還、移住・定住人口の増加
- ・行政サービスの効率化（行政職員の不足、技術職の減少）
- ・産業誘致、雇用創出、地域活性化・持続性
- ・基盤インフラの維持（住民との共創）

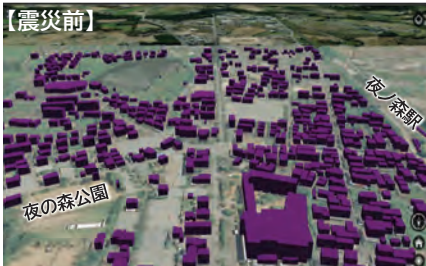
2 実証事業の到達目標

- ・「浜通り版 スマートシティの形成 ～Society5.0の実現～」に向けて、浜通り自治体の地域課題の解決に寄与するデジタル技術、ICT技術、データ活用の方法を見つける
- ・国の補助事業などを活用しながら、有効な技術、手法の展開を開始する

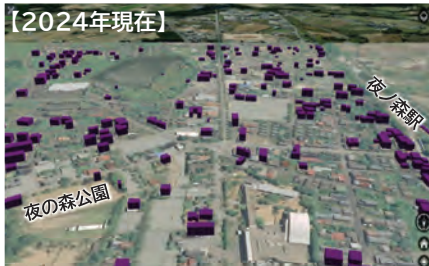
3 実施内容

【取組①：まちの立体モデルを構築（R5.12～R6.2）】

【震災前】



【2024年現在】



※)現存している建物を紫の立体としてモデル化

【効果】 まちの移り変わりを立体表現、アーカイブ資料として活用可能

【取組②：桜のデータベース化（R5.12～R6.5）】

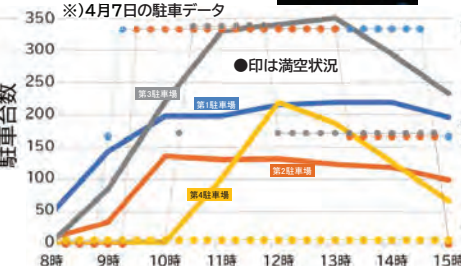
【簡易GISアプリ:SOCOCA】



【効果】 記録の保管、確認が容易

【取組③：夜の森桜まつりでの駐車場情報の提供、人の移動情報の収集と分析（R6.3～R6.10）】

【1. 駐車場情報の提供】



【効果】 令和7年の桜まつりに向けて取得データの活用を提言

【2. 駐車場データを踏まえた提言】

【道路ネットワーク活用・アクセスルートの最適化】

- 常磐道、国道6号からのアクセスルートの改善
⇒駐車場利用が左折イン・左折アウトとなるよう、周辺道路ネットワークを活用
⇒駅近くの五差路への交通集中の低減やメイン会場周辺の道路への交通負荷軽減



【3. 人流データの取得、分析】



◆来場者傾向



ランキング
いわき市:50.8%
郡山市:15.9%
南相馬市:13.3%
福島市:3.7%
川俣町:2.3%
相馬市:2.0%
二本松市:2.0%
田村市:1.5%
広野町:1.3%

出典元:クロスロケーションズ(株)
Location AI Platform

◆提言書の提出



4 まとめ（今後の展望）

<自治体>

- ・「夜の森さくらまつり」は富岡町において最大のイベントで、まちのにぎわいづくりに最大のツール。人流データ分析等は確かなエビデンスとなり、今後のイベント運営に大いに役立てたい。
- ・立体モデル構築・道路ネットワークの提言は、行政を超えた多方面で注目され、魅力あるまちづくりに大きく寄与すると期待される。

<企業>

- ・夜の森の桜まつりにおいて、我々のチームメンバーが集合し、アナログ的なデータ収集も含めて現地対応した経験は、まちづくりに向けて我々が何を支援できるのかを一緒に考える良いきっかけとなった。
- ・富岡町は夜の森地区のまちづくりを様々な検討されており、これらに対してデジタルやICTツール活用等による支援に関し、費用対効果も含めて意見交換を継続してまいりたい。また、今年の桜まつりも楽しみにしている。

DXを活用した行政・住民サービス事業の実証 【浪江町】

【浪江町】 × 【(株)オリエンタルコンサルタンツ・(株)NTT-ME・NTTインフラネット(株)】

1 解決したい地域課題

- ・避難住民の帰還、移住・定住人口の増加
- ・行政サービスの効率化（行政職員の不足、技術職の減少）
- ・産業誘致、雇用創出、地域活性化・持続性
- ・基盤インフラの維持（住民との共創）

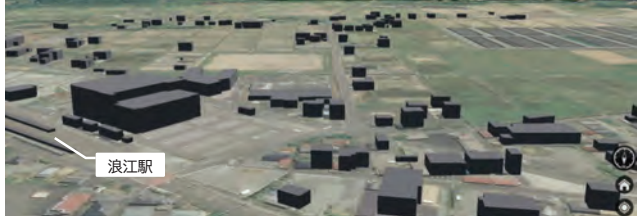
2 実証事業の到達目標

- ・「浜通り版 スマートシティの形成 ～Society5.0の実現～」に向けて、浜通り自治体の地域課題の解決に寄与するデジタル技術、ICT技術、データ活用の方法を見つける
- ・国の補助事業などを活用しながら、有効な技術、手法の展開を開始する

3 実施内容

【取組①：まちの立体モデルを構築（R5.12～R6.2）】

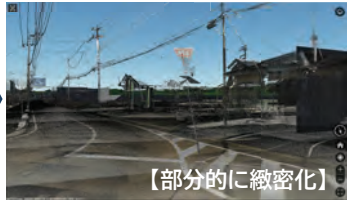
【簡易モデルで現在のまちを立体モデル化】



MMS車両で
点群データ・画像取得



点群・画像データを3D都市モデルへ反映

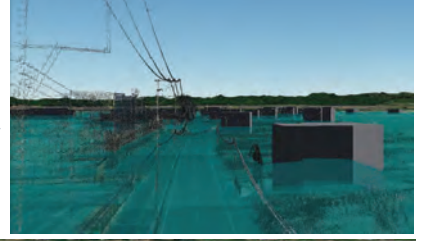


【取組②：3Dハザードマップの構築（R5.12～R6.2）】

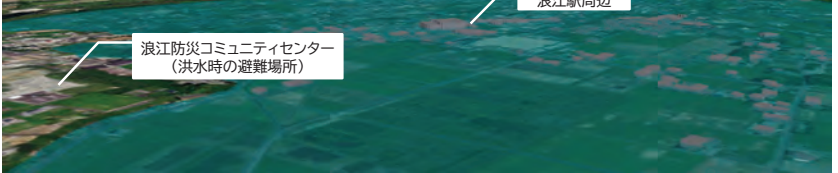
洪水浸水想定区域データ
（国土数値情報より）



【3D浸水ハザードマップ(拡大)】



【3D浸水ハザードマップ(鳥瞰)】



【効果】 3Dデータのため、あらゆる視点から確認が可能

【取組③：基盤インフラである道路の維持管理（R6.1～R6.10）】

スマートフォンアプリ(GLOCAL-EYES:ニチレキ社)を活用した路面点検(R6.1)



ひび割れ

- 区画1 (0~20%)
- 区画2 (20~40%)
- 区画3 (40%~)



【効果】 町の活動を踏まえ、ツールの有効性は確認できたが、導入に向けた検証までは至らず

町の道路維持パトロールへ同行(R6.7)



4 まとめ（今後の展望）

<自治体>

- ・本取組で実証いただいた内容は、今後のまちづくりを進める中で有効な手法となることを認識した。
- ・浪江駅西側エリアについては、来年度より具体的な検討に入る。本取組で得た手法の活用についても検討してまいりたい。

<企業>

- ・新たなまちづくりが進められる中で、立体モデルの有効性や道路等のインフラメンテナンスに対し、デジタル・ICTツールなどの新技術活用の必要性を改めて確認できた。一方、住民サービス向上等を定量化できていないため、事業化へは引き続き意見交換が必要である。
- ・デジタル・ICTツール活用を他の参加企業も検討されており、浪江町主催の企業交流会へ継続参加し、連携の機会を考えてまいりたい。